

浅間山火山噴火緊急減災対策事業 片蓋川・濁沢砂防堰堤着工式



浅間山5月21日(日)撮影

平成29年5月21日 長野原町営浅間園において、浅間山直轄火山砂防事業の群馬県側基本対策施設となる片蓋川・濁沢砂防堰堤の着工式を開催しました。
当日は、群馬県、長野原町、嬭恋村の首長や議員、用地提供者である(株)プリンスホテル等大勢の方々にご臨席いただき、無事に執り行うことが出来ました。



式辞



利根川水系砂防
事務所長
田村圭司

挨拶



関東地方整備局
河川部長
朝堀泰明



○開催日時

平成29年5月21日(日)

○会場

群馬県長野原町 町営浅間園

地元首長様より

祝辞を頂いた皆様

”この事業は必ず地域住民や観光客の生命と財産を守るものである”
と力強いお言葉をいただきました。



孺恋村議会
議長
滝沢 倂明 様

孺恋村長
熊川 栄 様

群馬県議会
議長代理議員
南波 和憲 様

群馬県
県土整備部技監
清野 哲哉 様

長野原町長
萩原 睦男 様

長野原町議会
議長
浅沼 克行 様

着工式に先立ち、同日13時より現地見学会を行い、
多数のご来賓の皆様に参加していただきました。

片蓋川砂防堰堤

濁沢砂防堰堤



片蓋川、濁沢砂防堰堤群の完成イメージ

施工箇所周辺写真



事業概要

浅間山は国内でも有数の活発な火山です。天明3年(1783)の大噴火では、火砕流・泥流等の発生により、山麓や利根川上中流域に大きな災害をもたらしました。

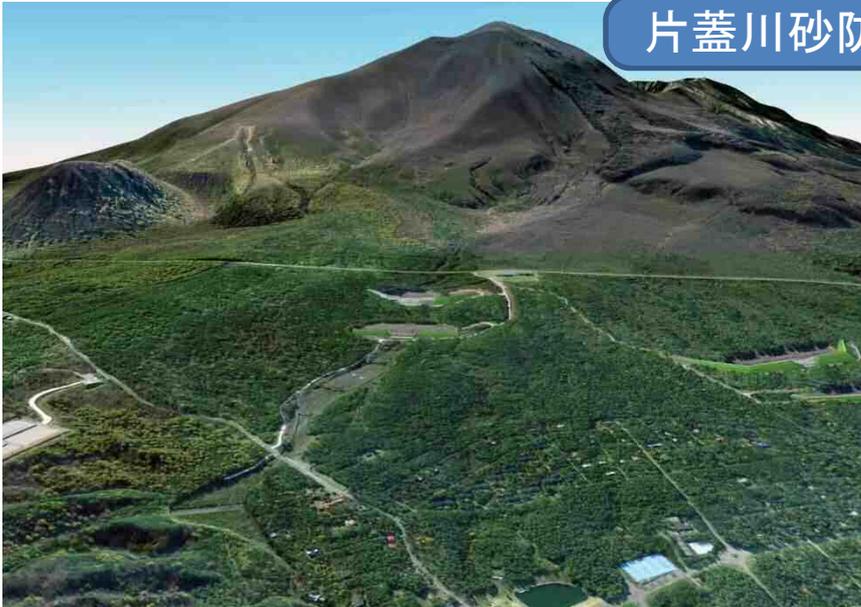
また、中規模噴火は概ね20年間に1程度、最近では2004年、2009年に起こしています。活動が活発となった2015年にごく小規模な噴火をし、噴火警戒レベルが2のまま推移しています。

一方で、浅間山周辺には6市町村約20万人が住居しています。また、別荘やリゾート施設もあり、国道、北陸新幹線、上信越自動車道等の重要な交通網が整備されています。

このことから平成24(2012)年度から浅間山の噴火の際に発生する可能性のある融雪型火山泥流と噴火後の土石流を対象とした「火山噴火緊急減災対策」砂防事業に着手しています。

この事業では、平常時対策(砂防堰堤等の基本対策施設の建設、資機材の備蓄)と緊急時対策(火山活動を考慮して迅速かつ効果的な工事)を行います。昨年度より群馬県側で基本対策施設となる砂防堰堤工事を着手しております。

片蓋川砂防堰堤群完成イメージ



片蓋川砂防堰堤群

- 第一砂防堰堤(緊急対策施設)
高さ: 9.0m 長さ: 240m
泥流捕捉量: 53,000m³
- 第二砂防堰堤(基本対策施設)
高さ: 14.5m 長さ: 344m
泥流捕捉量: 103,500m³
- 施工期間(予定)
平成28年～平成33年

濁沢砂防堰堤群完成イメージ



濁沢砂防堰堤群

- 第一砂防堰堤(緊急対策施設)
高さ: 7.0m 長さ: 230m
泥流捕捉量: 31,400m³
- 第二砂防堰堤(基本対策施設)
高さ: 10.0m 長さ: 431m
泥流捕捉量: 124,000m³
- 施工期間(予定)
平成28年～平成33年